

「鬼は外～！福は内～！！」

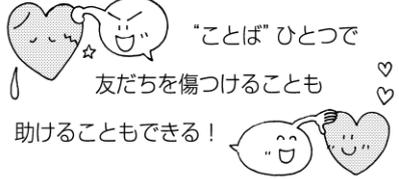
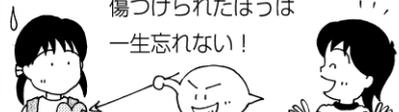
節分の日（2月3日）にはこう言いながら豆をまきます。そして、自分の年齢の数だけ豆を食べると、これから一年、病気になるいと言われていいます。病気のことはもちろんのこと、我々大人や子どもたちの心にこっそりいるかもしれない悪い鬼も、一緒に追い払いたいですね。また、『花粉症予防時期』となりました。ついでに・・・花粉も追い払いましょう！

友だちの心を傷つけない！

悪口について
どう思っていますか？

誰だって悪口を言われるのはいやですよね！でもその反面、友だちの悪口を言って楽しんでい
る人はいませんか？「そんなに悪いことを言ったとは思わなかった」「軽い気持ち」で言ったこと
で取りかえしのつかないほど友だちを傷つけてしまうことがあります。

みなさんは、ほんの小さなことでも傷つく年ごろなのです。友だちのいやがることを言ったり、
やったりしないように心がけましよう。

<p>自分がやられたら どう思う!? まずはそこから 考えてみて!!</p> 	<p>“ことば”ひとつで 友だちを傷つけることも 助けることもできる!</p> 
<p>傷つけたほうはすぐに忘れても 傷つけられたほうは 一生忘れない!</p> 	<p>悪口を言うことで 仲よくなった人とは 本当の友だちでは ないと思う!</p> 

「心のお手入れ・・・していますか？」

家族の人やお友だちと話しているとき、
相手がステキな笑顔を見せてくれると、そ
れだけで楽しい気分になってきますよね。
笑顔には、まわりの人を元気にする力があ
るようです。

家庭でも、学校でも、笑顔をたくさん増
やして、心のお手入れができるの良いです
ね!

また、「笑い」により、免疫力がアップす
るとの研究結果も報告されています。
まさに“笑う門には福来る”ですね。

「アレルギー疾患」についてのお話

◎アナフィラキシーとは？

アレルギー反応により、じんましんなどの皮膚症状、腹痛や嘔吐などの消化器症状、ゼーゼー、呼吸困難などの呼吸器症状が
複数同時にかつ急激に出現した状態を「アナフィラキシー」と言います。中でも、血圧が低下して意識の低下や脱力を来す
ような場合を「アナフィラキシーショック」と呼び、直ちに対応しないと生命に関わる重篤な状態であることを意味します。ま
た、アナフィラキシーには、アレルギー反応によらず運動や物理的な刺激などによって起こる場合があることも知られています。

◎学校での対応は？

アレルギー疾患の特徴として、同じ疾患の児童であったとしても個々の児童で症状が大きく異なるということがあ
ります。このため4月に提出していただく「定期健康診断予備調査票」や保護者からの連絡をもとに『症状の特
徴・注意点・緊急時の対応等』の事項を担当・養護教諭を中心に把握するようにしています。また、食物に関しては
注意しなければならない食品がある場合は、医師の診断書や関係書類を保護者に作成してもらい、教頭・栄養士・養
護教諭・給食主任・保護者で面談をして、給食の対応を決めます。（書類等の用紙は学校にあります。）

*令和6年度分の給食対応等に関する調査は、令和5年11月に調査済みですが、
変更等ありましたら担任または養護教諭までご連絡ください。

◎保護者の方へのお願い

- ・アレルギー疾患等で何か気になることがありましたら、担任または養護教諭に、その都度ご連絡ください。
- ・保護者の緊急連絡先に変更等がありましたら、確実に連絡をお願いします。

※子どもたちが安全に生活できるようにするためには、学校とご家庭の連携がとでも重要です。

ご協力よろしくお願いたします。

参考文献「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン：日本学校保健会」